

吾妻山砂防通信

第33号



工事施工状況
のお知らせ

松川上流の姥湯地区で床固工施工中

松川上流の姥湯地区(山形県米沢市)では、平成元年8月6日 台風18号による降雨、平成18年10月7日前線による降雨により土石流災害が発生し、姥湯温泉等が壊滅的な被害を受けました。国土交通省では、平成19年度までに災害復旧工事を終え、現在は、床固工工事等の土砂災害防止対策の工事を行っています。



↑平成元年の被災状況→



工事施工箇所は、川幅も狭く、急勾配、土砂崩落の危険性のある箇所であり非常に厳しい条件のもと工事を実施しています。また、例年11月上旬には雪が降りだし、工事は出来なくなりますが、今年度予定した工事は無事に終わることが出来ました。

工事施工状況



姥湯地区全景



工事名:阿武隈川水系姥湯床固工工事
工期:平成25年6月22日～
平成25年12月20日
請負者:(株)竹田組



◆「床固工」って？

川底が川の流れによって削られるのを防いで、川の傾きを安定させるために、川を横断して作られる砂防施設です。

災害に備える

遠隔操作式バックホウ操作講習会を実施しました



操作席には誰も乗り込んでいません。

現場の条件にもよりますが、300m程度離れた地点からも操作可能です。

10月11日、荒川遊砂地で、災害応急対策工事の請負業者を対象として、遠隔操作式バックホウの操作講習会を実施しました。

遠隔操作式バックホウは、土石流などの災害現場で復旧作業を行う機械です。人が乗り込まずに操作を行うことができるため、二次災害等の恐れがある危険な箇所でも、安全を確保しながら作業を行うことができます。

今回の講習会には、8業者18名が参加。災害発生時に即座に対応ができるよう、操作訓練を行いました。



▲操作装置



▲遠隔操作でも、土砂をしっかりと引き出します

松川湧水公園大交流会

10月13日(日)

排水ポンプ車・パネルの展示



堤防の除草に使用する草刈機の展示・実演



当出張所では、地域のイベント等で、土石流模型実験や災害対策用車輛・パネルの展示など行うことで、地域のみなさんに、よりいっそう防災意識を高めていただくよう努めております。10～11月に行われた2つのイベントにも、多くの方にお集まりいただきました。



模型を使用した土石流の発生実験

あづまの郷ウォーク大会 11月3日(日)

松川庁舎に建設監督官1名が加わりました!



中野 建設監督官

10月から松川庁舎勤務となりました中野です。

業務は主に二本松地区の河川工事を担当しており、砂防関係は直接担当はしていませんが、“いざ”と言う時は、河川・砂防関係なく頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

お問い合わせはこちら
(ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)
〒960-2156
福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)
〒960-2261
福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL 024-591-1207
HP <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

